

Ⅳ 令和7年度予算概要

令和7年度の地方財政計画では、社会保障関係費、人件費の増加や物価高が見込まれる中、地方団体が、住民のニーズに的確に応えつつ、こども・子育て政策の強化などさまざまな行政課題に対し、行政サービスが安定的に提供できるよう、地方交付税などの一般財源総額について、令和6年度を上回る額が確保されました。

その内、地方交付税については、前年度比16%、2千904億円増の18兆9千574億円が計上されております。

令和7年度予算編成については、これまでと同様、第6次福島町総合計画の着実な事業推進を図るとともに、さまざまな町政課題に的確に対応する予算計上に努めております。

燃料費および物価高騰などにより、各会計において歳出予算の抑制については大変厳しい状況にありますが、限られた財源のもと財政健全化を念頭に置きながら、第6次福島町総合計画のまちづくりの目標実現に向けた施策や事業を計上したところであります。

歳入の町税においては、定額減税終了による個人町民税の増、および法人町民税の増により1.5%増の4億9千288万5千円を計上しております。

また、主要な財源である普通交付税については、地方財政計画や前年度実績などを考慮し、当初予算では7.7%増の19億6千100万円を計上しております。

歳出については、定住促進に向けた定住向け町有住宅建設事業の実施、子育て環境の充実に向けた認定こども園福島保育所改修事業の実施、町の基盤整備として各地区における町道などを整備してまいります。

各会計の歳入歳出予算額

一 般 会 計	45億2,425万4千円
国民健康保険特別会計	6億6,217万円
介護保険特別会計	5億2,277万1千円
うち保険事業勘定	5億2,113万2千円
サービス事業勘定	163万9千円
後期高齢者医療特別会計	7,987万3千円
町立診療所特別会計	1億2,617万2千円
水道事業会計	2億691万5千円
浄化槽事業会計	7,725万5千円
計	61億9,941万円

Ⅴ むすび

以上、令和7年度の町政執行に臨むにあたり、私の所信を申し上げます。

今年度は、昭和30年1月に吉岡村と福島町が合併し新福島町が誕生して70周年の節目の年となり、次の時代につながり大切な年でもあります。

町を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、このような困難な時代だからこそ、私たちが本来持っている、自助・共助・公助が重要であり、今、この時代だからこそ、皆で、そして地域全体が助け合い支えあいながら“まち”を共に創る「共生社会の実現」が求められております。

私は町長就任以来、常に心に刻んでいる思い、そして町政に向き合う姿勢として、町民の思いに寄り添い、真摯で思いやりのある行政を目指してきたところであります。

私は、町の最高規範である「まちづくり基本条例」の基本理念を尊重し、まちづくりの主体である町民の声に耳を傾け、町民からまちづくりの仕事を託された議会と行政がしっかりと議論し、「協働によるまちづくり」の実現に努めてまいります。

私は、町民と行政の相互の信頼関係が、政を進めていくうえでの基本と捉えており、引き続き、福島町で暮らす町民1人ひとりが笑顔で過ごせるよう、他人を思いやる心をもって、新たな一年を町民の皆さまと共に、本方針に掲げた政策の実現を目指してまいります。

これまで、町民ならびに町議会議員の皆さまからさまざまな機会を通じて、いただいた多くの意見や提言に、真摯に耳を傾け、町民の皆さまの思いに誠実に向き合い、町民の思いに寄り添った政策の実現に向けて、職員一丸となってさらなる町政の推進に邁進する所存であります。

最後に、町民の皆さまの深いご理解とご協力ならびに町議会議員の皆さまのご指導とご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます、町政執行方針とさせていただきます。